

# 2019 年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 NAROMAN

## 1. 事業の成果

### ① 子どもの栄養に関する事業

- ・3歳～5歳までの低栄養の子供とその母親を対象とした1週間の栄養プログラムを実施  
(健康・栄養教育・昼食およびおやつを一緒に作って食すことを行うことで栄養状態の改善を目指す)
- ・栄養プログラム始動に伴い6月19日～9月5日まで日本から看護師1名を派遣し、  
コミュニティー・ヘルス・センター (CHC) と合意・新たなスタッフ (調理師・清掃員) を外注
- ・2019年7月15日～2020年3月23日までに母親128名・子供203名を指導  
(3月23日以降はコロナウイルス感染拡大防止のため施設に親子を集めての活動は休止)
- ・非常事態宣言発令以降は、過去のプログラム参加者宅56軒を訪問し、子供たちの状況を確認・食料を配布
- ・子供たちを栄養指導施設 (聖ラファエラ子どもの家)まで安全に送迎するための自動車を購入  
専属運転手を外注
- ・4月より現地青年をコーディネーターとして採用

### ② 眼科診療関連事業

- ・日本から4名の眼科医師を派遣し、193人に無料診療を実施  
必要に応じて、ご寄付頂いている老眼鏡を提供

## 2.事業内容

### (1)特定非営利活動に係る事業

#### ①子どもの栄養に関する事業

##### 聖ラファエラ子どもの家事業

- ・内 容 a)東ティモール首都デシリにある旧小学校を栄養指導施設（聖ラファエラ子どもの家）として修繕・改築  
b)保健省および公的な医療機関と連携し栄養プログラムを展開する為、コモロにあるコミュニティー・ヘルス・センターとプログラム内容について説明および合意  
c)栄養プログラム始動  
子どもの身体測定・手洗い、歯磨き指導から始め、3大栄養素を中心とした栄養不良を改善する献立作り・調理実習・作った物を食べることで、食事の楽しさを皆で経験する  
また、母親一人一人と、子供の栄養状態・毎日の食事について話し合い、各家庭の事情に応じた改善策を提案する  
(なお、非常事態宣言発令以降は、過去のプログラム参加者宅を戸別訪問し、状況確認・食材配布を行う)  
d)専属運転手による子供たちの送迎
- ・日 時 2019年7月～2020年3月  
(3月23日以降はコロナウイルスの影響により休止)
- ・場 所 東ティモール首都デシリのコモロ村 Tuti にある栄養指導施設「聖ラファエラ子どもの家」
- ・従事者人数 17人
- ・受益対象者 プログラムに参加した母親128名・子供203名
- ・支出額 11,352,877円

#### ②眼科診療関連事業

##### 無料診療事業

- ・内 容 弊団体内の医師4名が6月に現地で無料診療を実施。  
2日間の診療活動で193名の患者を無料で診療する。  
その際、老眼鏡が必要な方には日本から寄付で集めた老眼鏡をお渡した
- ・日 時 2019年6月11日～12日
- ・場 所 a) 東ティモール首都デシリのコモロ村にある修道院  
b) リキサ県バザルテテ郡にある修道院
- ・従事者人数 a) 8人  
b) 4人
- ・受益対象者 a) 眼科診療希望者 170人  
b) 幼稚園・小学校の子供（4～9歳） 13人  
修道院内の修練期の子女 4人  
修道女(25歳～65歳) 6人
- ・支出額 1,291,563円

(2) その他の事業  
該当事業なし